

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年10月31日
株式会社デンソー

1. 車両の増加により増収
将来の成長に向けた投資や、
海外の工場立ち上げ費用の増加により、前年比減益

2. 上期の業績や、アジア市場の動向を踏まえ、
通期営業利益の予想は、据え置き

2015年3月期 第2四半期 連結決算

02 / 23

()内は売上高比

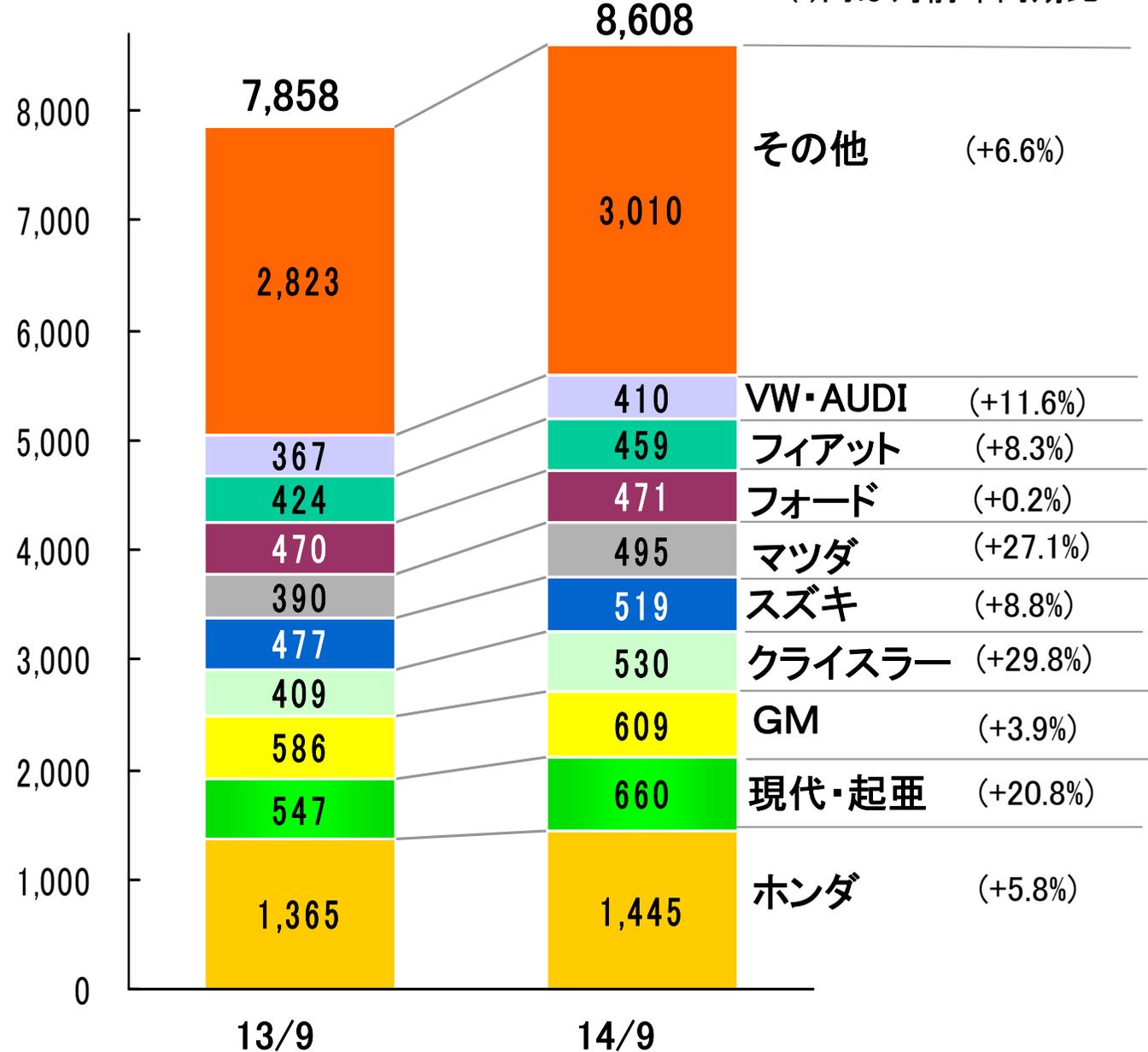
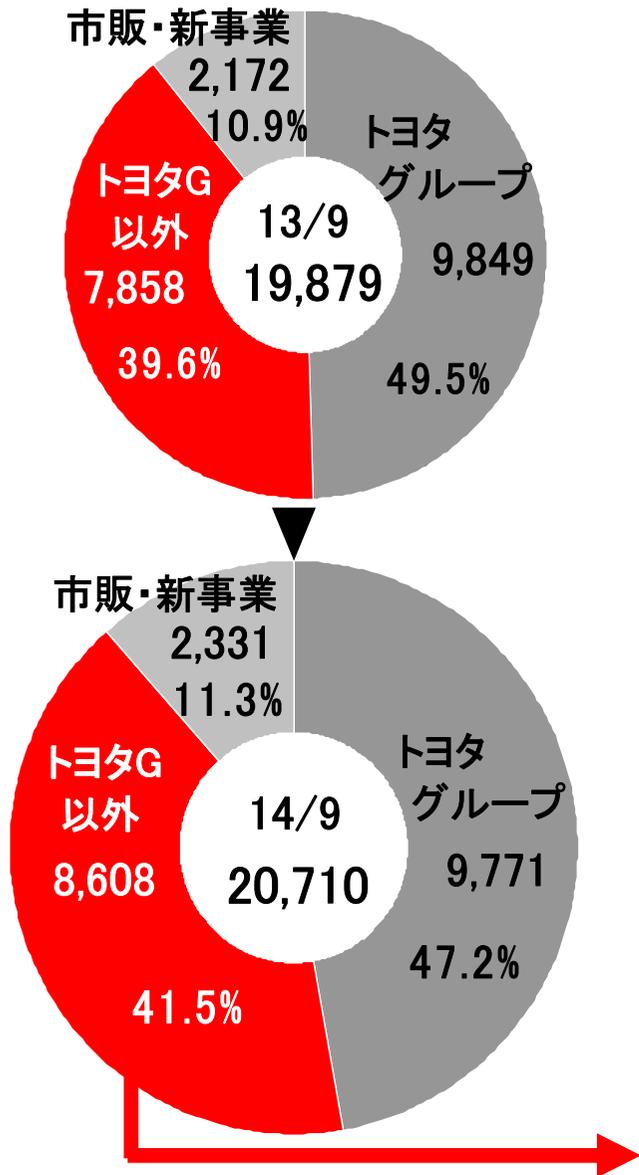
【単位:億円】

	1Q時予想	14/9期実績	13/9期実績	増減額	増減率
売上高	20,220	20,710	19,879	+831	+4.2%
営業利益	(8.1%) 1,640	(7.8%) 1,613	(9.7%) 1,922	△309	△16.1%
経常利益	(8.8%) 1,770	(8.8%) 1,824	(10.8%) 2,146	△322	△15.0%
税引前利益	(8.8%) 1,770	(8.5%) 1,752	(10.8%) 2,146	△394	△18.4%
当期純利益	(5.7%) 1,160	(5.9%) 1,224	(7.5%) 1,501	△277	△18.5%
為替レート	100円/ドル 135円/ユーロ	103円/ドル 139円/ユーロ	99円/ドル 130円/ユーロ	4円 円安 9円 円安	
国内車両生産	458万台	459万台	453万台	+6万台	+1.3%
海外日系車生産 (内、北米)	963万台 (302万台)	913万台 (299万台)	869万台 (266万台)	+44万台 (+33万台)	+5.1% (+12.4%)

【単位：億円】

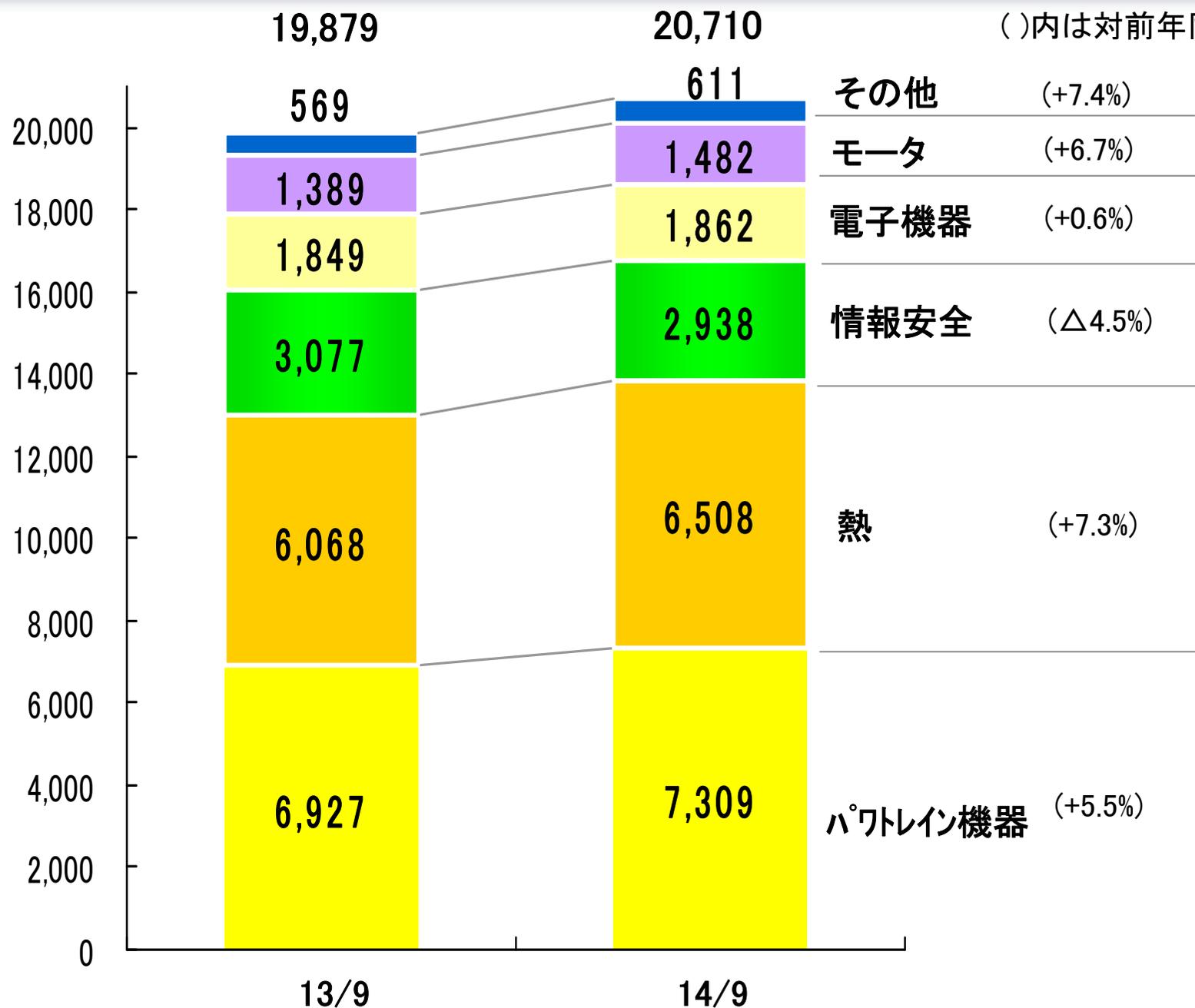
トヨタグループ外(OEM)

()内は対前年同期比

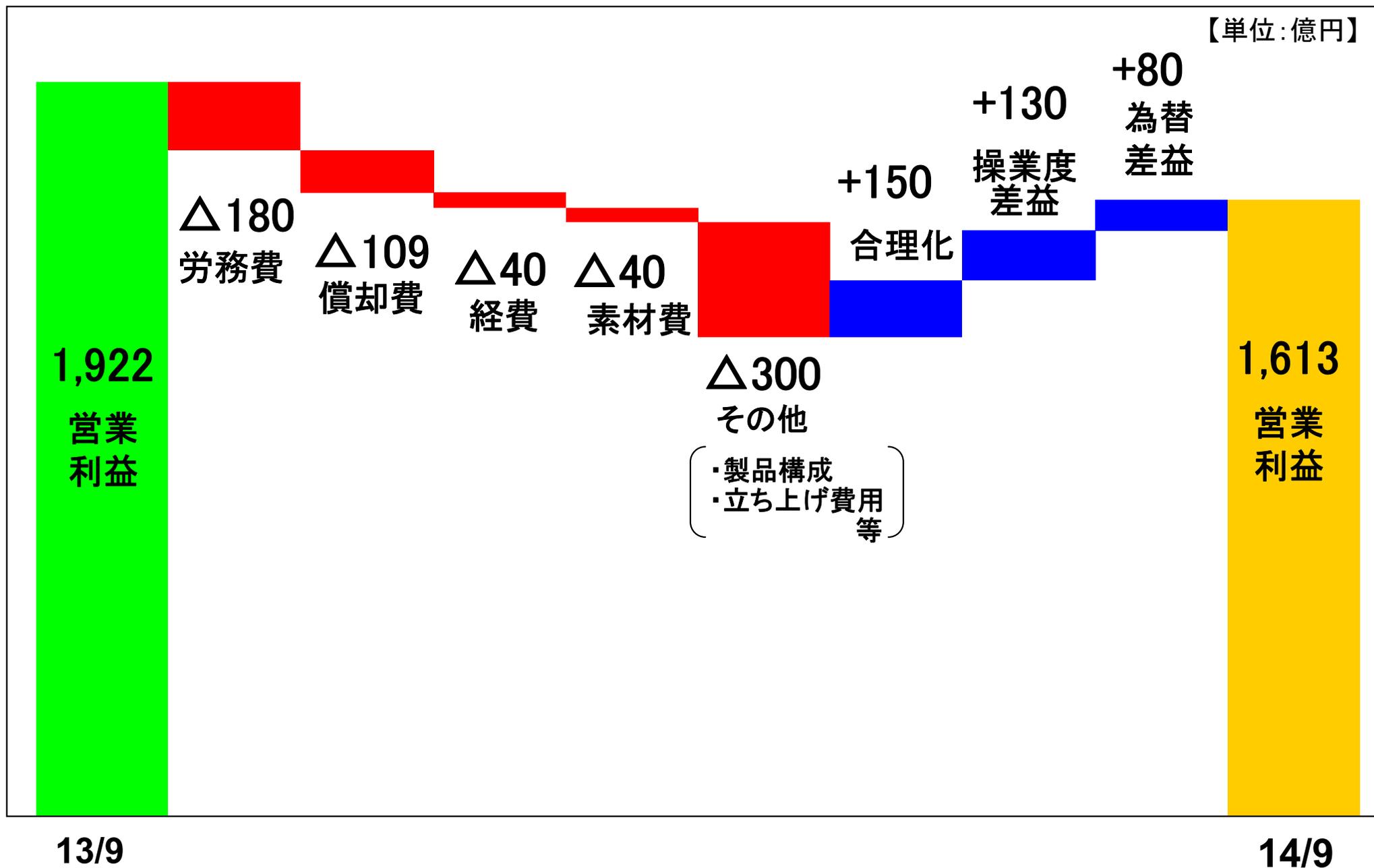


2015年3月期 第2四半期 連結売上高(製品別)

【単位:億円】



2015年3月期 第2四半期 営業利益増減要因(前年比)

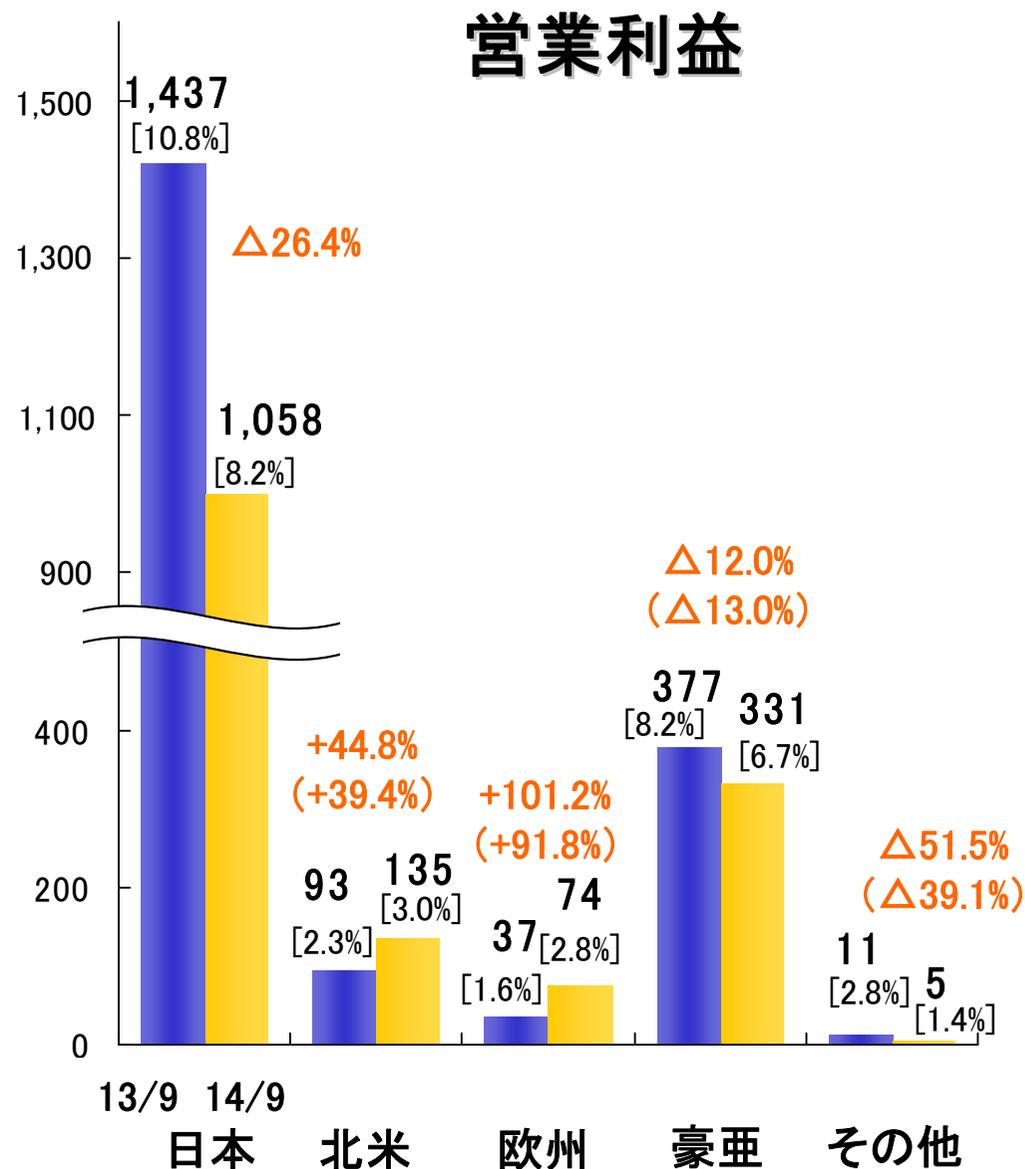
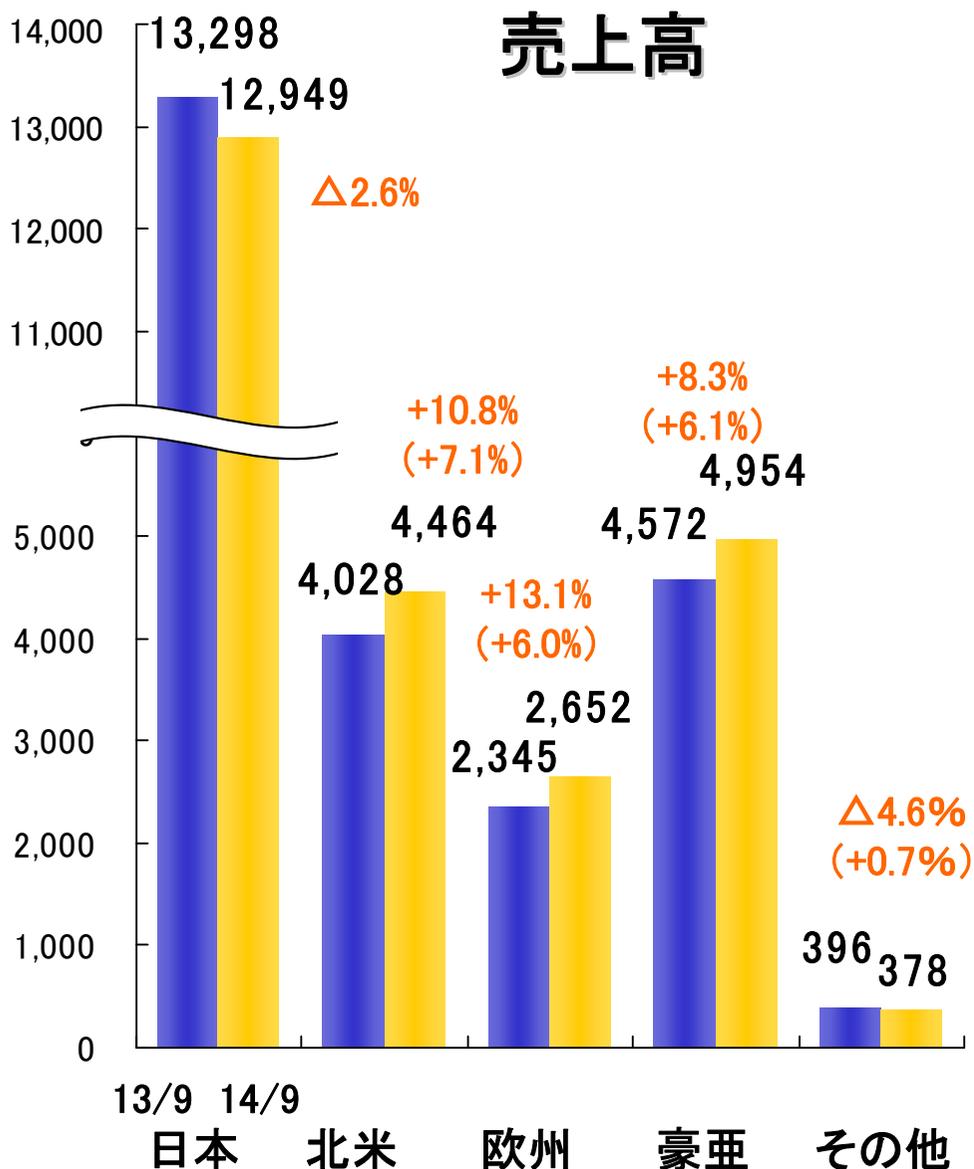


2015年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



2015年3月期 通期予想

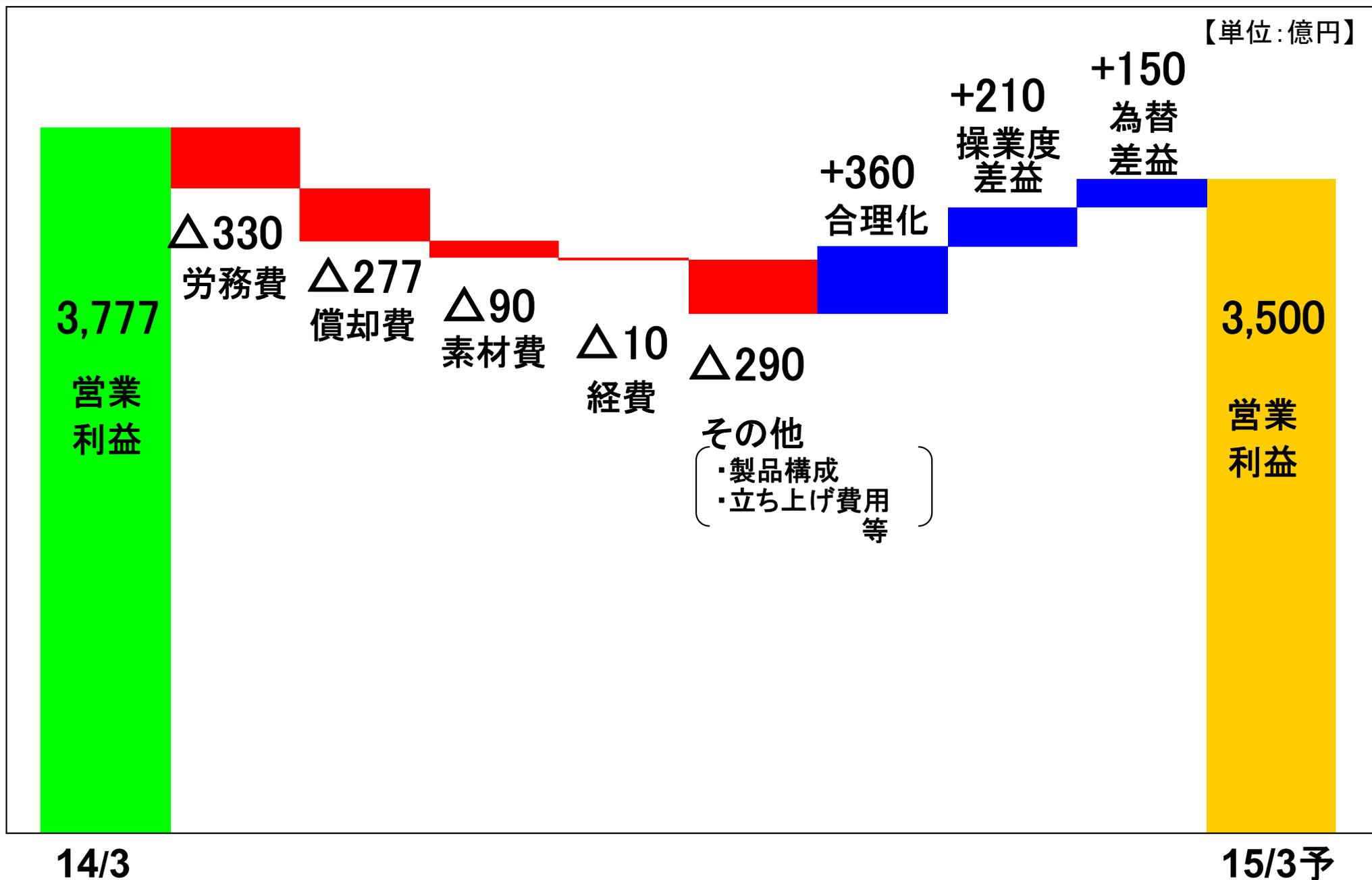
()内は売上高比

【単位:億円】

	1Q時予想	15/3期最新	14/3期実績	増減額	増減率
売上高	41,400	42,300	40,959	+1,341	+3.3%
営業利益	(8.5%) 3,500	(8.3%) 3,500	(9.2%) 3,777	△277	△7.3%
経常利益	(9.1%) 3,780	(9.1%) 3,850	(10.2%) 4,196	△346	△8.2%
税引前利益	(9.1%) 3,780	(8.9%) 3,778	(10.2%) 4,186	△408	△9.8%
当期純利益	(6.0%) 2,480	(5.9%) 2,480	(7.0%) 2,874	△394	△13.7%
為替レート	100円/ドル 135円/ユーロ	104円/ドル 137円/ユーロ	100円/ドル 134円/ユーロ	4円 円安 3円 円安	
国内車両生産	918万台	930万台	949万台	△19万台	△2.0%
海外日系車生産 (内、北米)	1,998万台 (622万台)	1,883万台 (612台)	1,770万台 (543万台)	+113万台 (+69万台)	+6.4% (+12.7%)

2015年3月期 通期予想 営業利益増減要因(前年比)

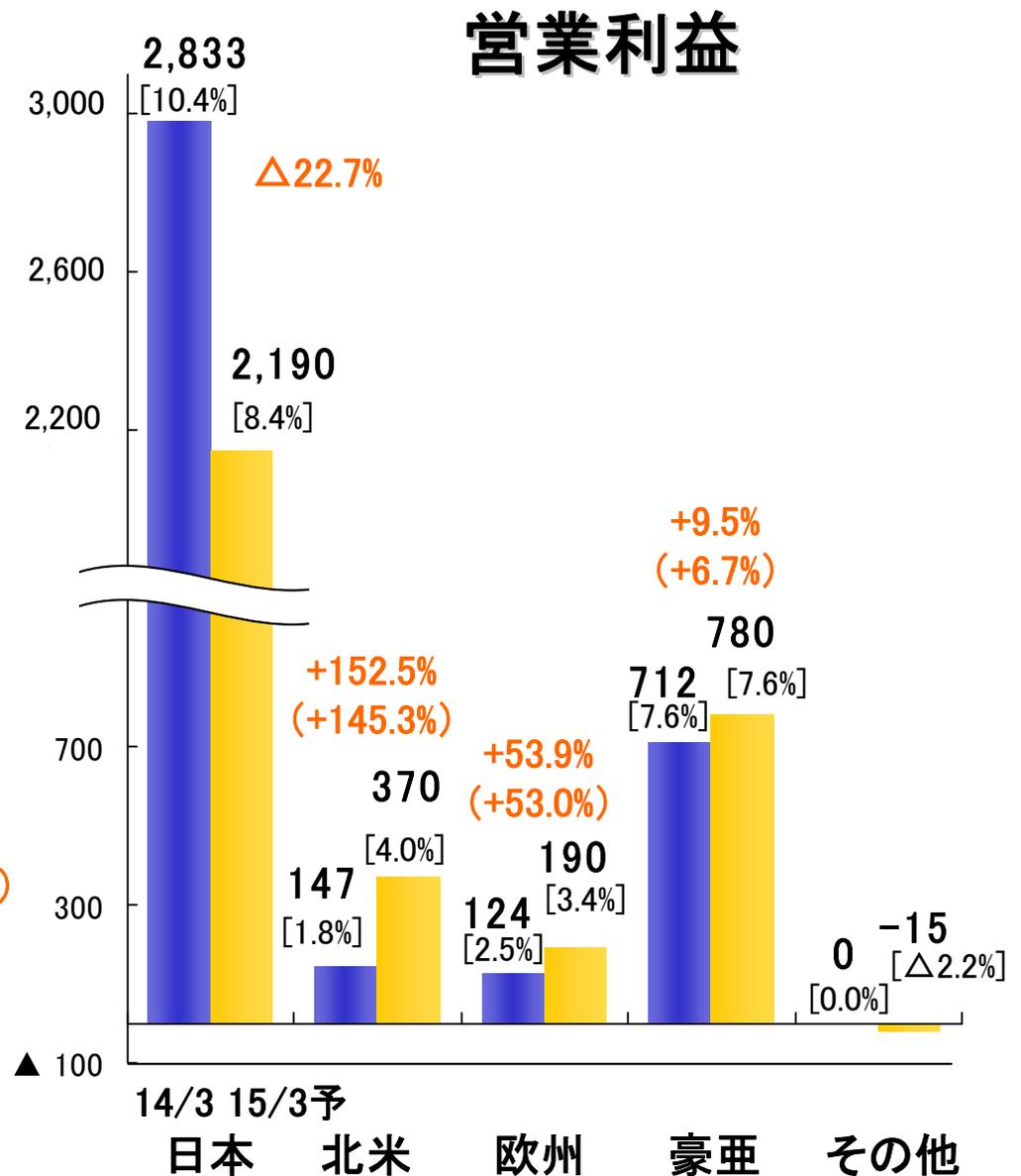
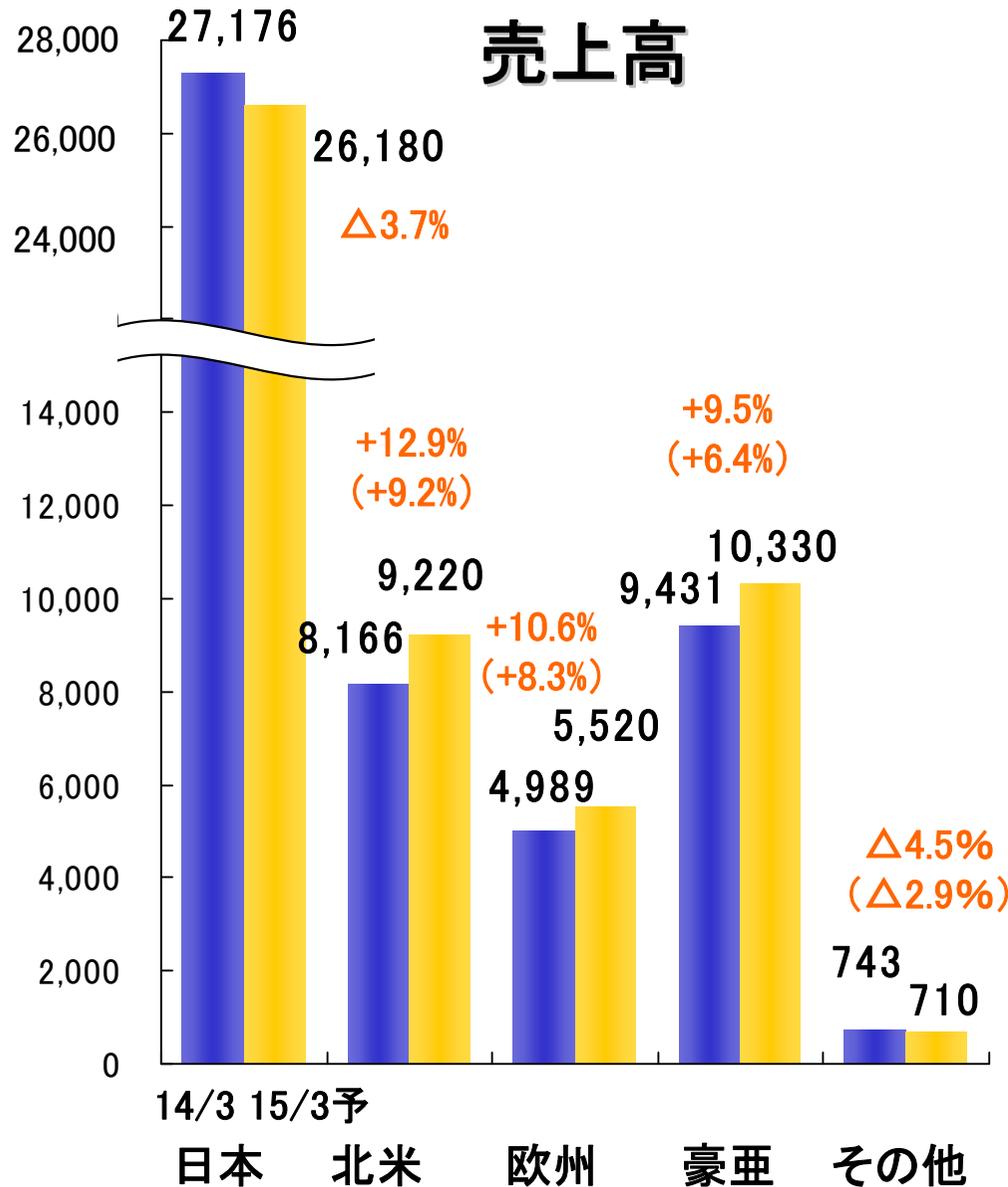
【単位：億円】



2015年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

[]は売上高比

【単位:億円】 ※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース



1. 2015年中期計画

2. 取り組み

- (1) 成長を支える技術開発(省燃費)
- (2) // (安心・安全)
- (3) グローバル開発体制
- (4) コスト競争力強化の取り組み
- (5) グローバル生産体制
- (6) 新事業分野への取り組み

中期計画の位置付け

12 13 14 15 16 17 18 19 20

基本理念

デンソー基本理念

長期経営方針

2020年 長期方針

「地球と生命を守り、次世代に明るい未来を届けたい。」

中長期戦略
・活動施策

15年中期計画

(12年～15年)

- ・先進的な技術開発
- ・モノづくりの革新
- ・市販・新事業の育成

18年中期計画

(15年～18年)

現在、「18年中期計画」を立案中

燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術

小型化

低燃費の小型車
部品の小型軽量化

電動化

ハイブリッド・電気自動車

システム化

システム間連携による省燃費

➤ 内燃機関エンジンの高効率化

- ・ガソリン直噴
- ・ディーゼルコモンレール



直噴高圧ポンプ

➤ アイドルストップシステムの対応

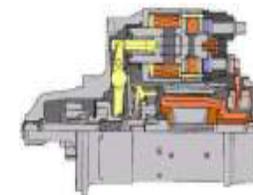
- ・スタータの始動性/耐久性向上
- ・省燃費システム



コモンレールシステム

➤ ハイブリッド製品の小型/軽量化

- ・インバータ
- ・モータジェネレータ



タンデムソレノイドスタータ



インバータ

➤ 車全体のエネルギーマネジメント

- ・熱・電カマネジメント



モータジェネレータ

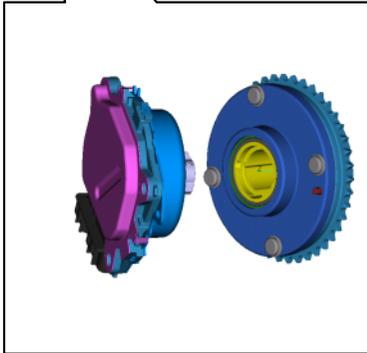
内燃機関エンジンの高効率化 - ガソリン直噴・ディーゼル

SKYACTIV-G
新型直噴エンジン

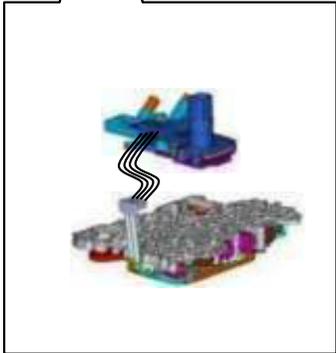


ガソリン直噴システム

SKYACTIV-Drive
新型トランスミッション

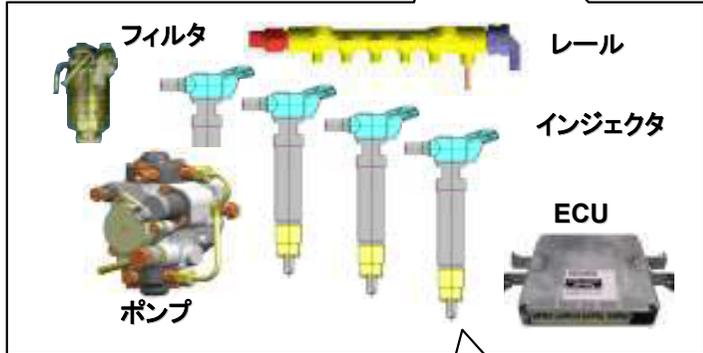


電動 VCT



AT モジュール

SKYACTIV-D
新型ディーゼルエンジン



2,000気圧 コモンレールシステム

マツダ・SKYACTIV に採用

～車両の燃費改善に大きく貢献～

「デミオ」に小型車向けの
新型インジェクタが採用され、
燃費の改善に貢献

高拡散ノズル

安心・安全分野の技術開発



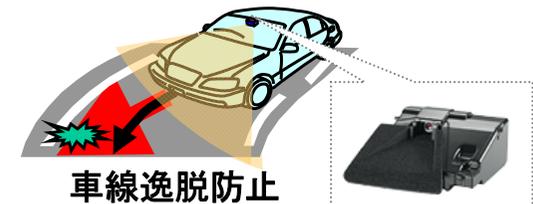
いつもの安心

車に乗っているあらゆるシーンで、「認知」「判断」「操作」を支援 (ドライバーに安心を提供)

重大事故(1)
軽い事故(29)
ヒヤリハット(300)
(疲労, 不安感, 苦手)

もしもの安全

緊急時に危険回避
(万一の重大事故時の被害軽減)



コックピット情報システム

- ・ドライバ状態推定
- ・周辺環境(遠)
- ・提示/操作調停
- ・クラウドとの連携



協調

予防安全システム

- ・周辺環境(近)
- ・車両制御調停

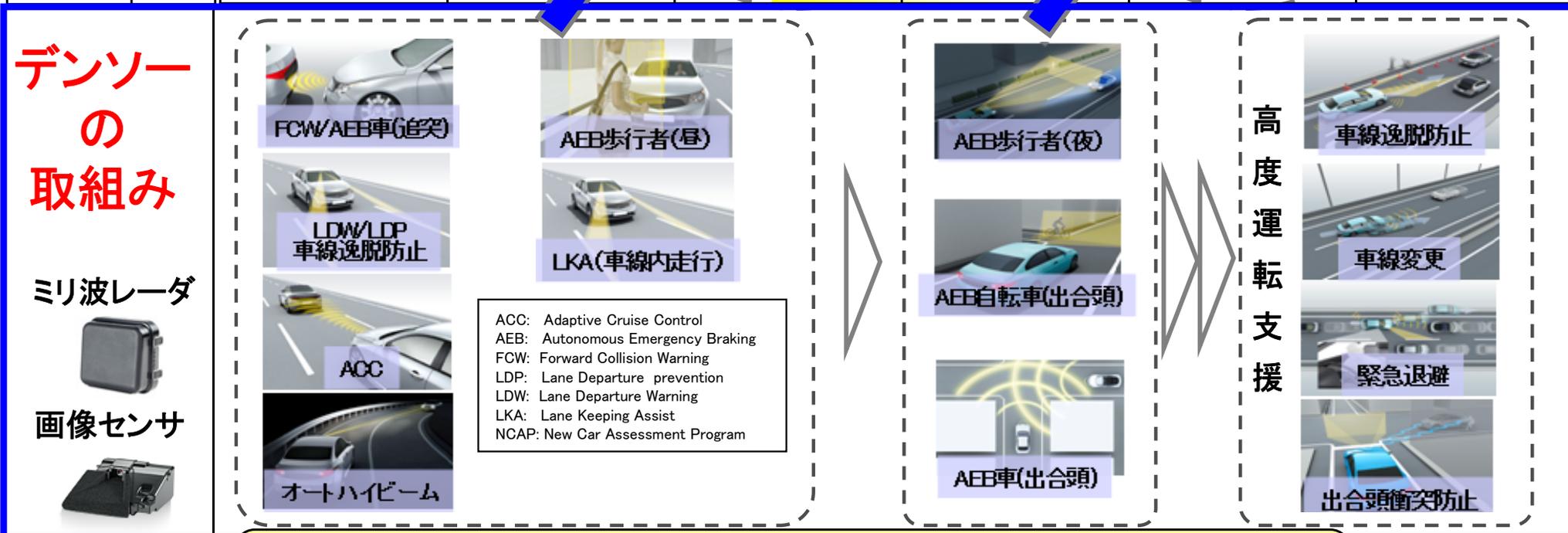


「いつもの安心、もしもの安全」の提供に向けた
安全技術とHMI技術の融合、協調するシステムを開発

世界の交通事故低減への貢献

決定
 予定

		~2014	2015	2016	2017	2018	2019~
主要国の安全評価基準 (NCAP)		<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 2px;">AEB車(追突)</div> <div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 2px;">LDW</div>		<div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB歩行者(昼)</div>		<div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB歩行者(夜)</div> <div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB自転車(出合頭)</div> <div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB車(出会頭、右折)</div>	
		<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 2px;">AEB車(追突)</div> <div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 2px;">LDW</div>		<div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB歩行者(昼)</div> <div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">LKA</div>			
		<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 2px;">FCW/LDW</div>		<div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB歩行者(昼)</div> <div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB車(追突)</div> <div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">LDP</div>		<div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 2px;">AEB歩行者(夜)</div>	



・NCAP導入に先駆けて、予防安全機能を実現
 ・18年目処に、高度運転支援システムを実用化

高度運転支援(実証実験)

①愛知県(知多半島道路)※での走行試験

車載カメラ・ミリ波レーダなどのセンサを搭載して公道走行

■単一レーン内の自動走行



■自動レーンチェンジ



※愛知県傘下のプロジェクトとして2014年6月より実施中

②ITS世界会議2014(デトロイト)

V2V車載機を活用した、高度運転支援技術のデモ走行

■高度運転支援デモ

車車間の無線情報通信を活用し、
先行車両の位置情報を使い、

- ・安心できる適切な車間距離で自動追従走行
- ・先行車の急停車に反応して安全停車

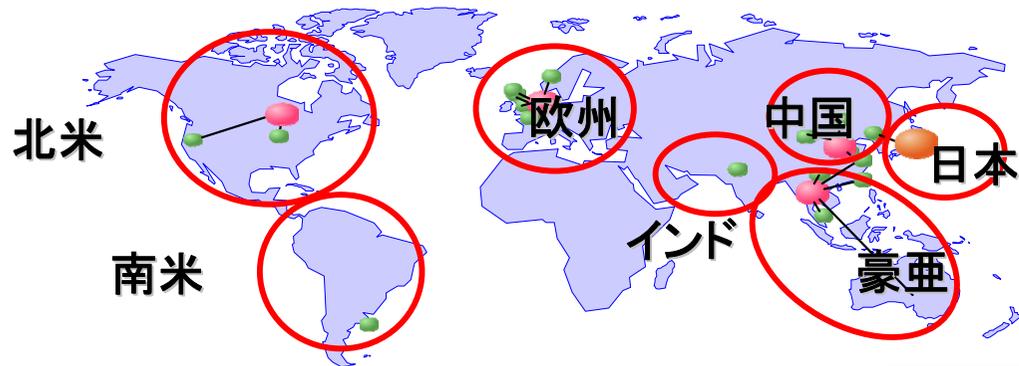


■先進HMIデモ

車車間、路車間の無線情報通信により得た周辺環境情報を、
コックピット情報システムを通じて、ドライバーに表示や音で
分かり易く表示

コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米 ミシガン	欧州 ドイツ(アーヘン)	豪亜 タイ(バンコク)	中国 上海	インド デリー	南米 サンタバーバラ
サテライト 拠点	国内G会社 韓国	テネシー、 カルフォルニア	イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	華北、西安、 華南、台湾	—	—



シリコンバレー

[拡充]

- ・サイバーセキュリティ
- ・ビッグデータ活用
- ・自動運転システムの開発
- ・新事業
(ヘルスケア・セキュリティ)

中国(上海)

[移転・拡充]



東京(設計開発拠点)

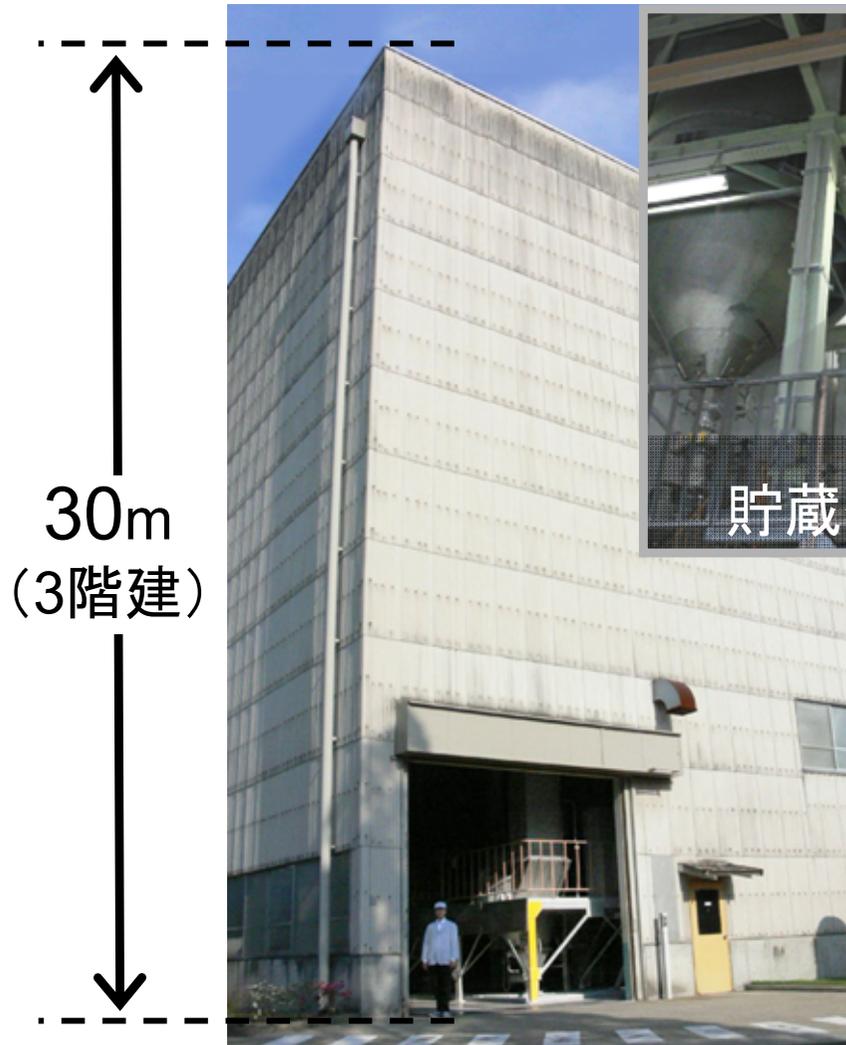
- ・車載半導体回路の設計開発を設置



世界7地域で地域最適製品の設計を強化
北米・欧州は研究開発拠点の役割を強化

(事例)ダントツ工場を実現する『1/N』設備

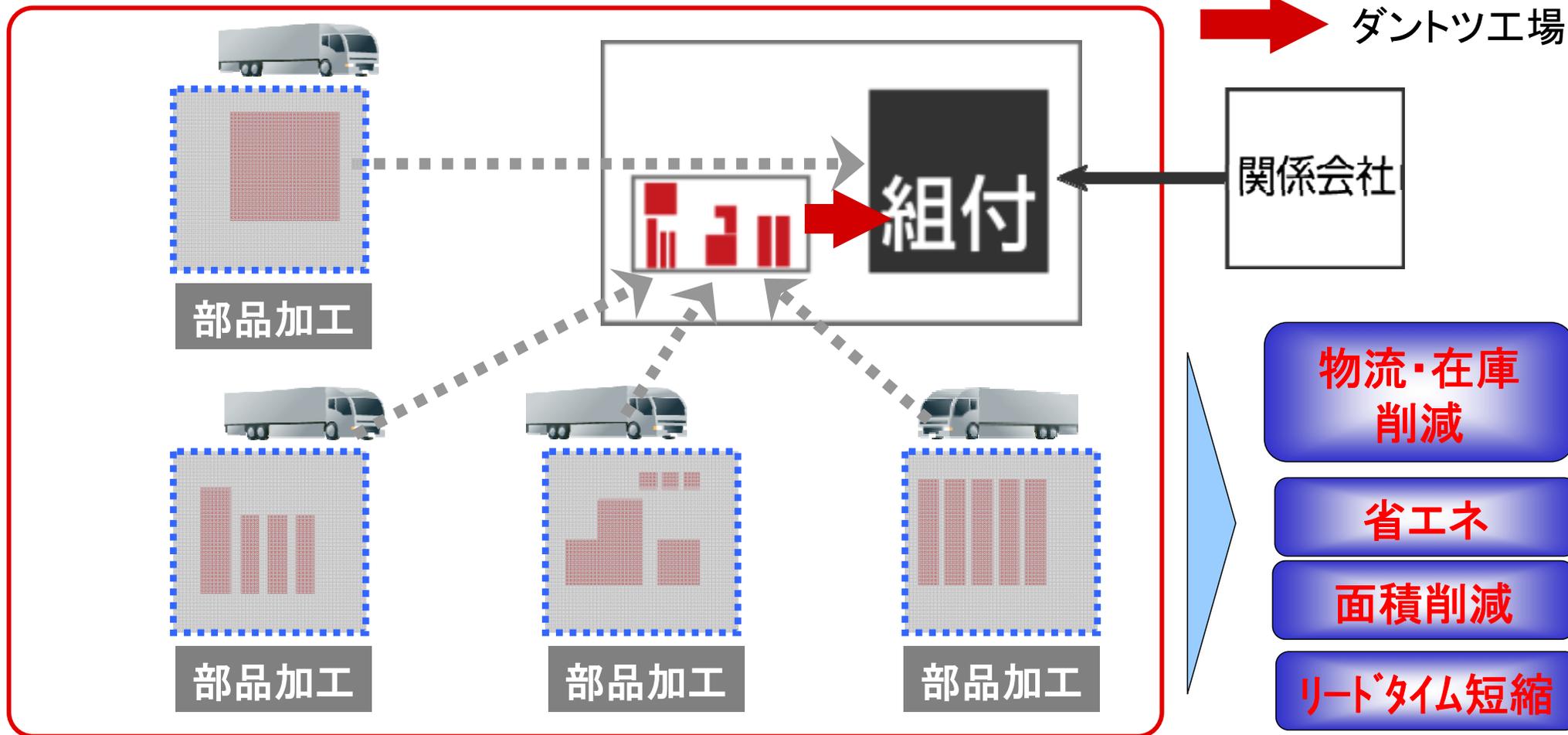
【従来】 → 【ダントツ工場】



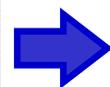
設備高さ **1 / 6**
生産性 **20%UP**
リードタイム **1 / 2**



ダントツ工場を実現する同期一貫生産



コンパクトな1/N加工機を導入



同期一貫生産を実現

生産システムのあらゆるムダをなくす

インド<ハリアナ・ジャジャール工場>

投資額 : 約42億円
 生産開始 : 2013年から生産開始
 面積 : 建屋面積12,000㎡
 業務内容 : 小型モーター、エンジンクーリングモジュールの製造



メキシコ<シラオ工場>

投資額 : 約107億円
 生産製品 : 2013年10月～ カーエアコン
 2014年10月～ オルタネータ
 従業員数 : 拡張後 850人(2015年計画)
 面積 : 拡張後 56,200㎡(建屋面積)



グローバルネットワーク
 222社
 (38の国と地域)

インドネシア<第3工場>

投資額 : 約94億円
 生産開始 : 2014年3月～プラグ、SIFS
 従業員数 : 1,300人(2016年3月計画)
 面積 : 建屋面積24,000㎡
 業務内容 : エンジンECU、VCT、スタータ、オルタネータの製造



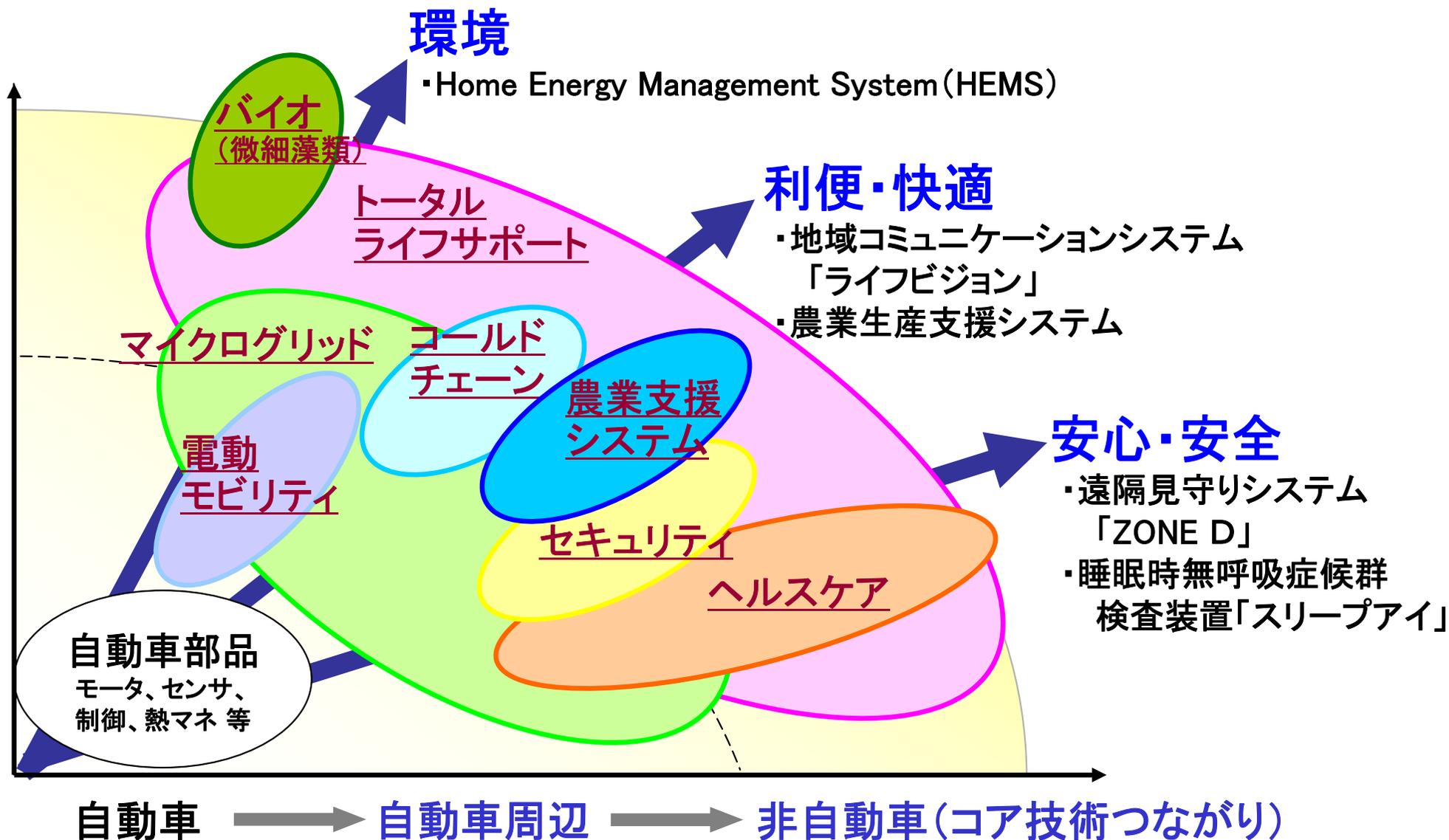
設備投資計画 (億円)



- ・グローバルに生産体制を拡充
- ・工場拡張は一段落し、設備投資はピーク越え

2014年9月30日現在

自動車部品で培ってきた技術をベースに、人々の生活に密接し、必要なサービスを・必要な時に・必要なだけ享受できる社会作りを目指す



(事例)QRコード[®]の発展と展開



QRコード[®] ('94)



カンバンの高密度化として誕生

- 高性能
- オープン特許
- 優れたデザイン

デザイン性を考慮

ロゴQ[®]、ロゴQモーション[®]、ロゴパス[®] ('10)



セキュリティ性を考慮

フレームQR[®] ('14)



キャンパス領域の活用により、様々なデザインQRコードの作成が可能

日本初！ QRコードが欧州発明家賞受賞

デンソーのグループ会社である株式会社デンソーウェーブと、株式会社豊田中央研究所の技術者で構成されたQRコード開発チームが、欧州特許庁が主催する欧州発明家賞において、一般投票によって選ばれる“Popular Prize”を日本から初めて受賞しました。

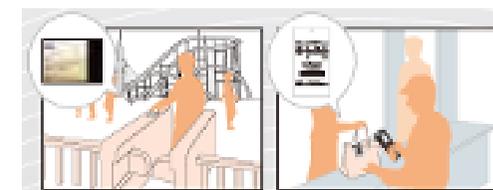


SQRC[®] ('07)



- ・公開部と非公開部の2層構造
- ・QRコードの偽造・改ざんを防止

複製防止QRコード('11)



チケット・ブランド品・製品の真贋判定

今後とも、サイバー、フィジカルの繋ぎ役としての機能、サービスの発展を通じ
O2Oビジネスの拡大と社会の利便、安全実現に貢献していきます

地球と生命^{いのち}を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

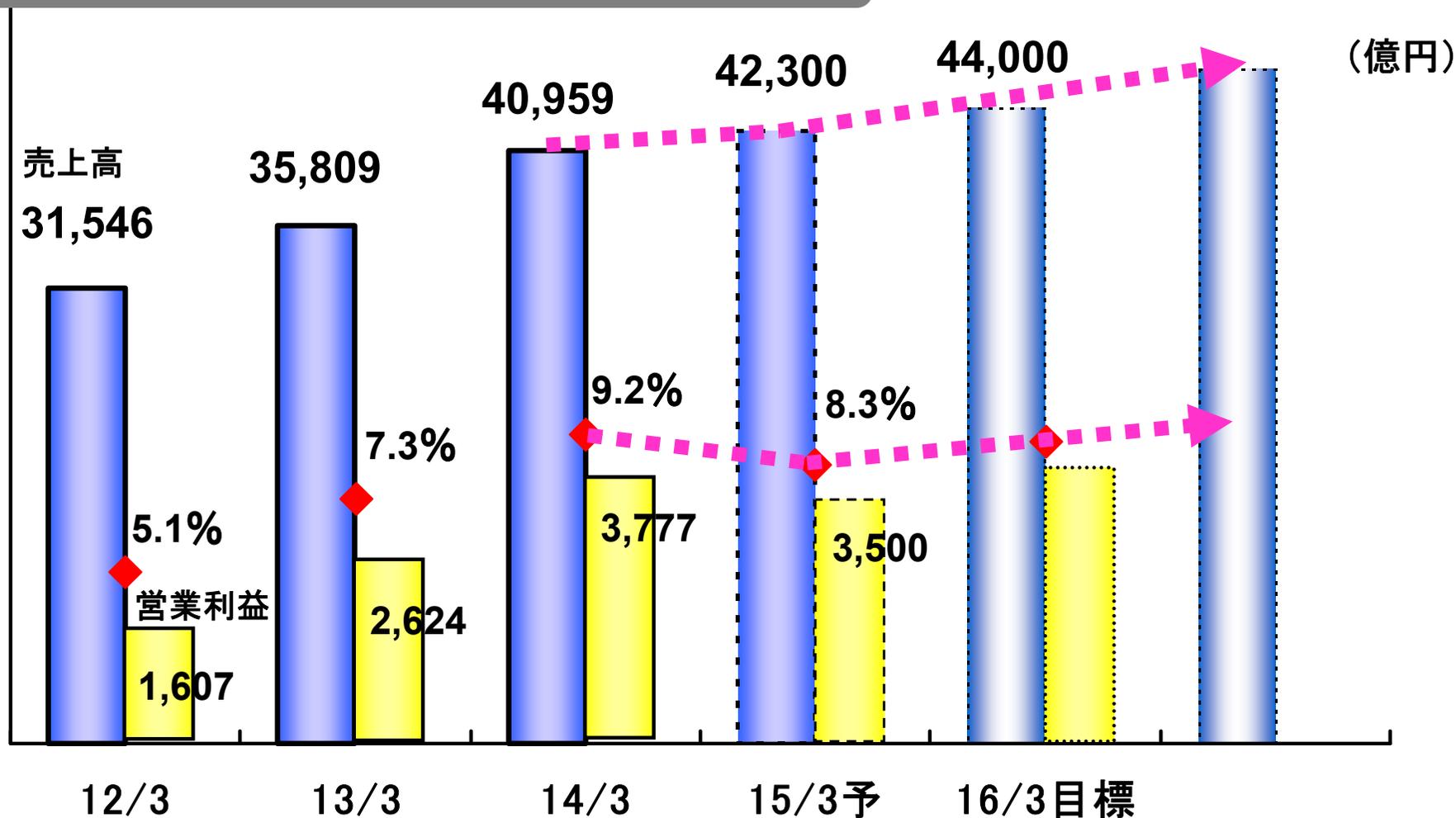
安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

DENSO

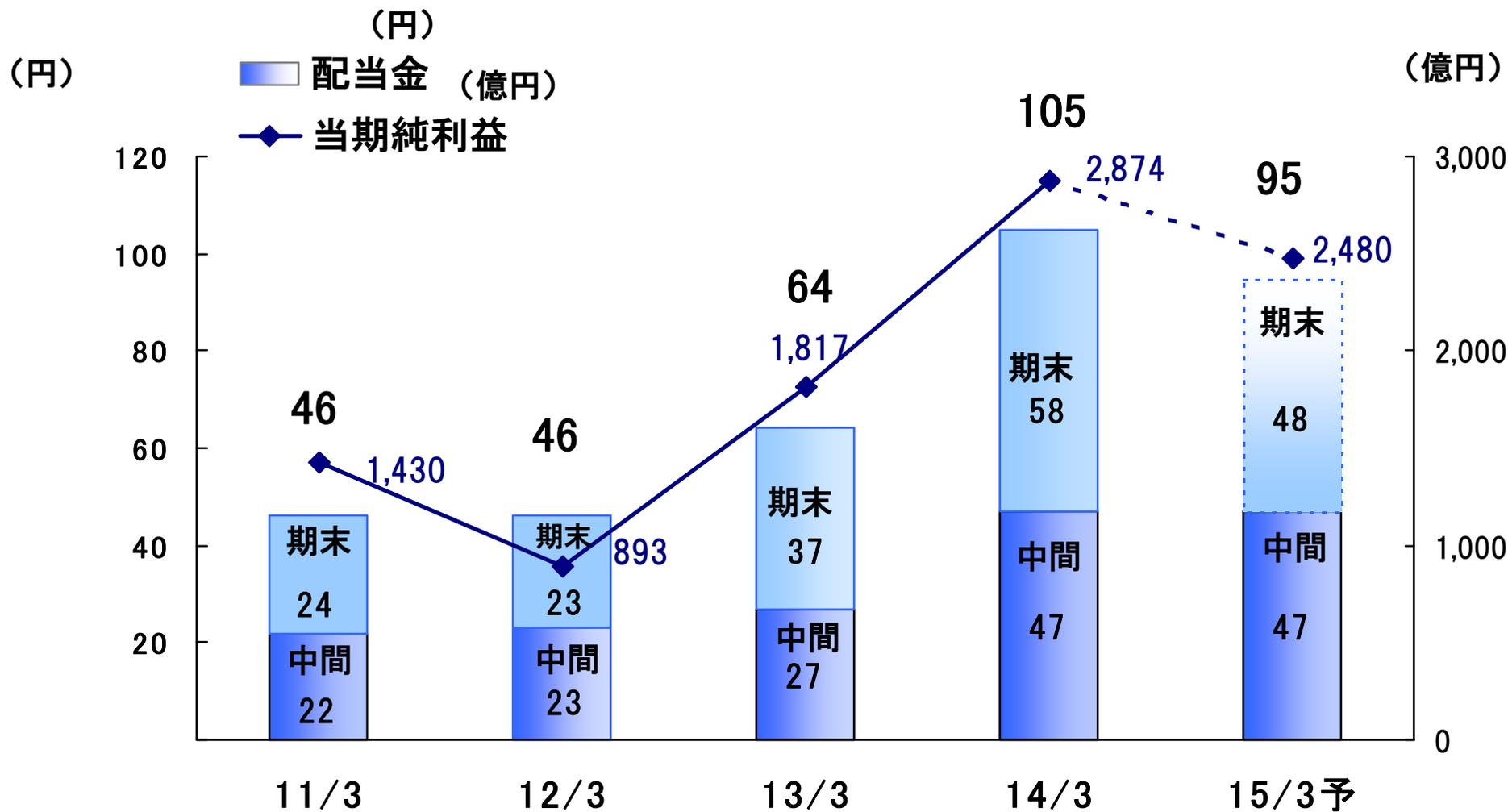
- 売上、利益目標
- 株主還元
- 2015年3月期 第2四半期(3ヶ月)
 - 所在地別セグメント情報(前年比)
- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上
- 設備投資・償却費・研究開発費

売上高・営業利益・営業利益率の推移



15/3期は将来の競争力強化に向けた投資コストが先行
16/3期以降の持続的な成長への着実な準備

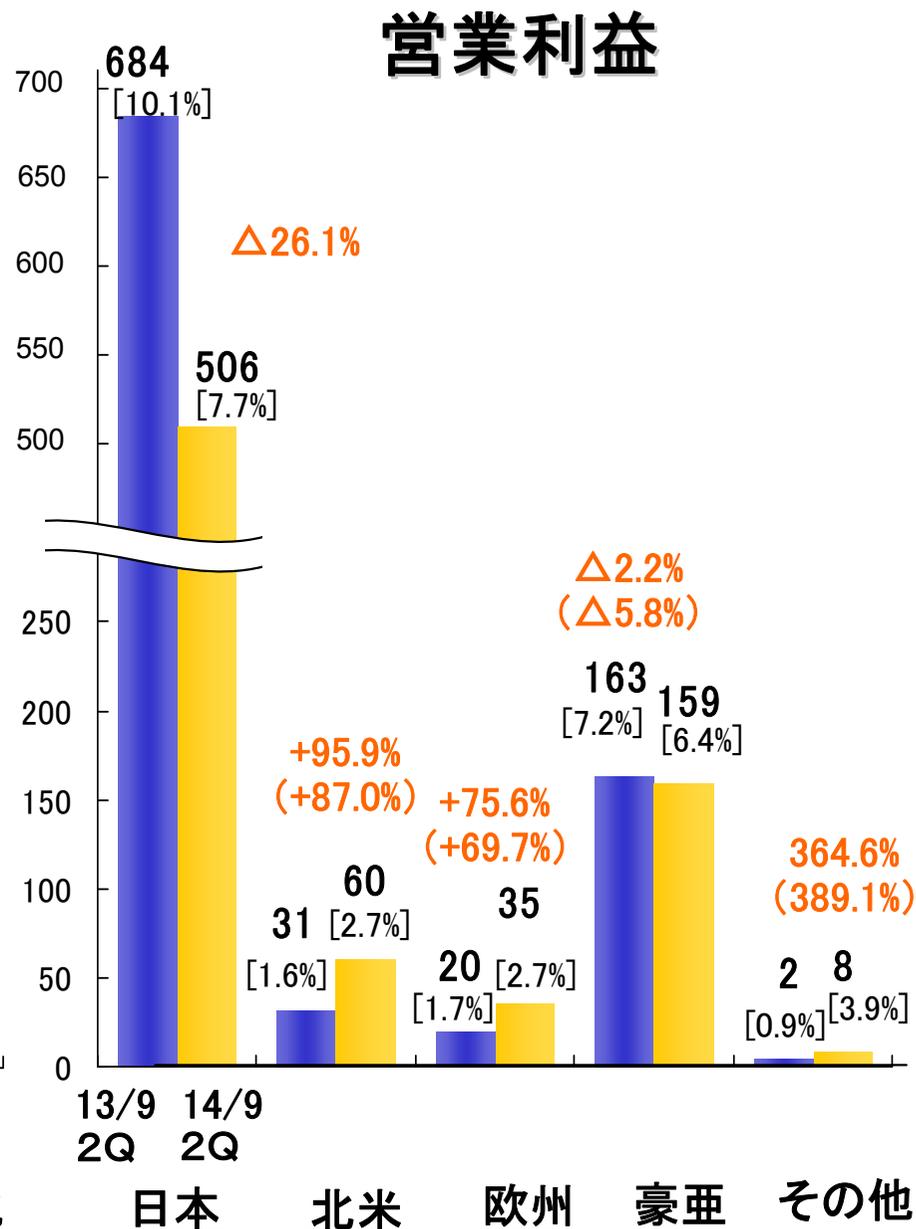
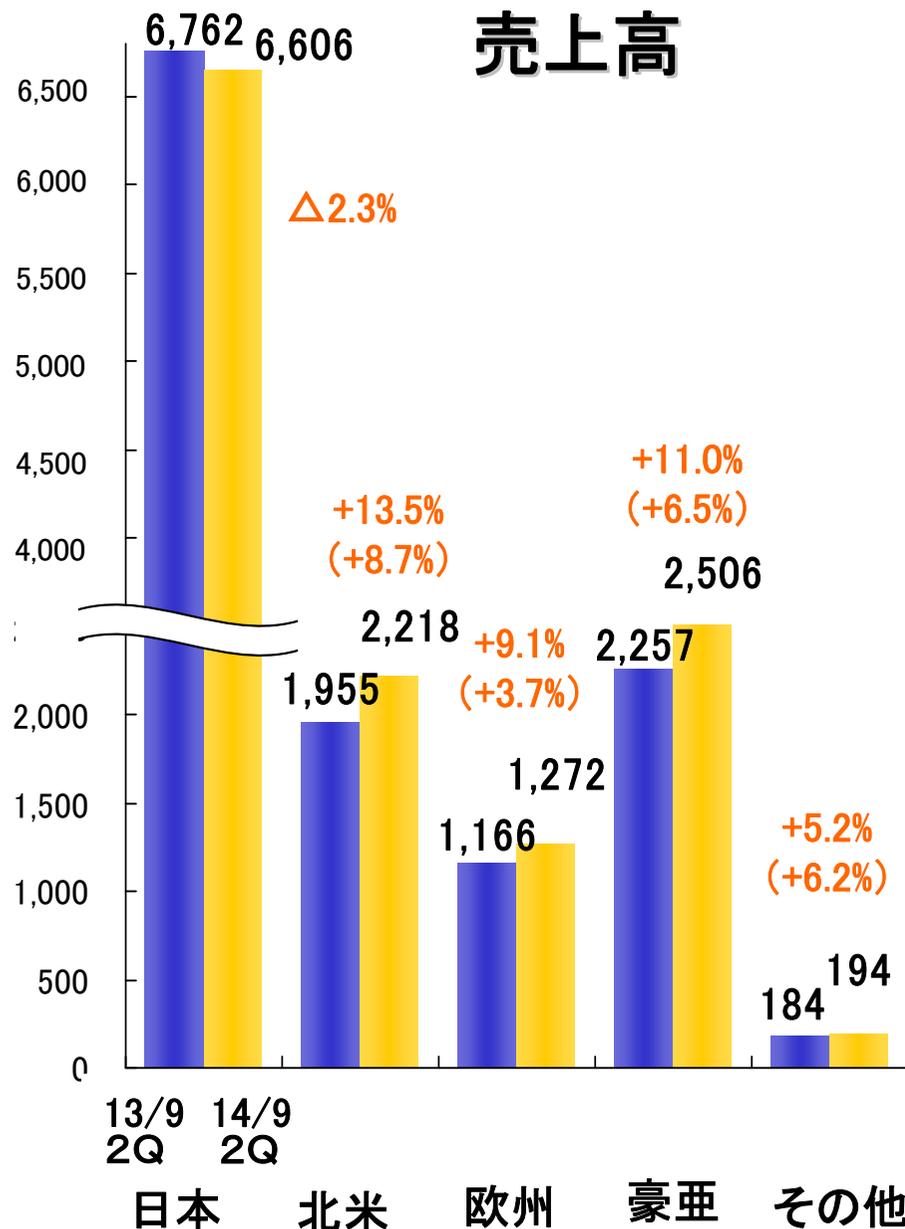
中間配当：1株につき47円、年間配当：95円



【単位：億円】

※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は営業利益率



損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	14/9期実績		13/9期実績		前年比		15/3期予想		前年比			
					増減額	増減率	14/6時予想	最新予想	増減額	増減率		
売上高	(100.0)	11,845	(100.0)	12,212	△ 367	△3.0	(100.0)	23,230	(100.0)	23,950	△ 958	△3.8
売上原価	(86.7)	10,266	(84.6)	10,330	△ 64							
販売費及び一般管理費	(6.7)	788	(6.1)	741	47							
営業利益	(6.7)	790	(9.3)	1,141	△ 351	△30.7	(6.4)	1,490	(6.9)	1,650	△ 583	△26.1
営業外収支		531		522	9			640		730	△ 30	
経常利益	(11.2)	1,321	(13.6)	1,663	△ 342	△20.6	(9.2)	2,130	(9.9)	2,380	△ 613	△20.5
特別損益		△ 94		0	△ 94			0		△94	△ 62	
税引前当期純利益	(10.4)	1,227	(13.6)	1,663	△ 436	△26.2	(9.2)	2,130	(9.5)	2,286	△ 675	△22.8
当期純利益	(8.6)	1,019	(10.7)	1,308	△ 289	△22.1	(6.8)	1,570	(7.1)	1,690	△ 507	△23.1

前提となる為替レート／車両生産台数

		上期					下期					15/3通期				
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時 予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
		為替レート (円)	USD	99	100	100	103	4円 円安	102	100	100	105	3円 円安	100	100	100
	EUR	130	135	135	139	9円 円安	139	135	135	135	4円 円高	134	135	135	137	3円 円安
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											28	25	25	25	△ 3
	EUR											8	7	7	7	△ 1
日系車両生産 台数 (万台)	国内	453	458	458	459	+1%	496	460	460	472	△ 5%	949	918	918	930	△ 2%
	北米	266	302	302	299	+13%	277	320	320	313	+13%	543	622	622	612	+13%
	海外日系車	869	963	963	913	+5%	900	1,035	1,035	970	+8%	1,770	1,998	1,998	1,883	+6%

【単位：億円，％】

区分	14/9期実績		13/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	8,985	43.4	9,025	45.4	△ 40	△ 0.4
ダイハツ	515	2.5	563	2.8	△ 48	△ 8.5
日野自動車	271	1.3	260	1.3	11	4.2
トヨタグループ計	9,771	47.2	9,849	49.5	△ 77	△ 0.8
本田技研	1,445	7.0	1,365	6.9	80	5.8
現代・起亜	660	3.2	547	2.7	114	20.8
G M	609	2.9	586	3.0	23	3.9
クライスラー	530	2.5	409	2.1	122	29.8
スズキ	519	2.5	477	2.4	42	8.8
マツダ	495	2.4	390	2.0	105	27.1
フォード	471	2.3	470	2.4	1	0.2
フィアット	459	2.2	424	2.1	35	8.3
V W ・ A U D I	410	2.0	367	1.8	43	11.6
富士重工	344	1.6	349	1.8	△ 6	△ 1.6
いすゞ	248	1.2	285	1.4	△ 37	△ 13.0
日産自動車	248	1.2	243	1.2	6	2.3
三菱自動車	241	1.2	230	1.2	11	4.6
B M W	202	1.0	163	0.8	39	24.2
ベンツ	172	0.8	165	0.8	6	3.9
P S A	101	0.5	105	0.5	△ 4	△ 3.4
ジャガー・ランドローバー	95	0.5	80	0.4	16	19.8
その他メーカー	1,359	6.5	1,205	6.1	154	12.8
O E M 計	18,379	88.7	17,707	89.1	672	3.8
※ 市販・新事業他	2,331	11.3	2,172	10.9	159	7.3
合計	20,710	100.0	19,879	100.0	831	4.2

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

【単位：億円，％】

区 分	14/9期 実績		13/9期 実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ ° ワトレイン 機 器	7,309	35.3	6,927	34.8	383	5.5
熱	6,508	31.4	6,068	30.5	440	7.3
情 報 安 全	2,938	14.2	3,077	15.5	△ 139	△ 4.5
電 子 機 器	1,862	9.0	1,849	9.3	12	0.6
モ - タ	1,482	7.2	1,389	7.0	93	6.7
そ の 他 ※	287	1.4	293	1.5	△ 6	△ 2.0
自 動 車 分 野 計	20,387	98.5	19,603	98.6	784	4.0
産 業 機 器 ・ 生 活 関 連 機 器	234	1.1	208	1.1	25	12.0
そ の 他	90	0.4	67	0.3	22	32.6
新 事 業 分 野 計	323	1.5	276	1.4	48	17.4
合 計	20,710	100.0	19,879	100.0	831	4.2

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

【単位：億円】

		14/3期		15/3期		14/9期	
		13/9期	実績	14/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	684	1,560	889	1,640	30.0%	54.2%
	北米	211	433	204	380	△3.3%	53.7%
	欧州	112	279	129	225	15.2%	57.3%
	豪亜	443	886	442	790	△0.2%	55.9%
	その他	53	83	17	45	△67.9%	37.8%
	合計	1,503	3,241	1,681	3,080	11.8%	54.6%
償却費	日本	587	1,309	630	1,440	7.3%	43.8%
	北米	90	188	104	230	15.6%	45.2%
	欧州	68	143	77	170	13.2%	45.3%
	豪亜	139	302	196	370	41.0%	53.0%
	その他	15	30	18	40	20.0%	45.0%
	合計	899	1,972	1,025	2,250	14.0%	45.6%
研究開発費 (売上高比)		1,812 (9.1%)	3,687 (9.0%)	1,938 (9.4%)	3,900 (9.2%)	7.0%	49.7%